

平成19年6月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年10月30日
(コード番号: 6916 JASDAQ)

上場会社名 株式会社アイ・オー・データ機器
(URL <http://www.iodata.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 細野 昭雄
責任者役職・氏名 総務部部長 IR担当 山森 光久 TEL:(076)260 3377

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の会計基準、その他影響額が僅少なものにつき、簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年6月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年7月1日～平成18年9月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年6月期第1四半期	12,500	20.6	311		307		437	
18年6月期第1四半期	15,749	10.0	543		587		435	
(参考)18年6月期	70,087	2.9	328		336		549	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
19年6月期第1四半期	29.77	
18年6月期第1四半期	29.62	
(参考)18年6月期	37.39	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格及び素材価格の高騰等の懸念要因はあったものの、雇用環境の改善に支えられた個人消費や企業収益の本格的な回復を背景に企業の設備投資も底堅く、景気は回復の基調に推移しました。当社をとりまくパソコン業界におきましては、JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）が10月26日に発表した2006年7-9月のパソコンの国内出荷実績は4-6月同様、数量及び金額ともに前年同期を下回る結果になっており、影響の多いパソコン関連市場においても同様、非常に厳しいスタートになりました。

このような状況下、当企業グループは「戦略とスピード」をテーマに積極的に市場拡大に取り組んだ結果、法人需要においては、景気の回復基調の中で企業の情報化に対する投資意欲は、安価になった15インチ液晶ディスプレイ装置や大容量の記憶装置等を中心に需要がありましたが、一方で個人需要においては、市場は企業間の競争激化で製品価格の下落傾向が続いており、製品のなかには、数量は前年同期より大幅に増加しましたが売上金額は逆に減少している製品があるなど、売上面では前年同期と比較して厳しい結果に終わりました。

また、前年の第1四半期において大幅な赤字を計上した利益面では、全社的に資材調達を統括コントロールする新しい組織が本格的に稼働をはじめ、前年同期と比較して売上高に対し4%近い粗利率の改善はあったものの、売上高の減少に加え、製品全般を通して製品の市場価格の低下に原価低減が追いつかず、前年同期の損失を黒字回復させるには至りませんでした。このため当第1四半期の業績につきましては、売上高125億円（前年同期比20.6%減）、営業損失3億11百万円（前年同期は5億43百万円の営業損失）、経常損失3億7百万円（前年同期は5億87百万円の経常損失）、四半期純損失4億37百万円（前年同期は4億35百万円の純損失）となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年6月期第1四半期	32,791	20,448	61.6	1,375.87
18年6月期第1四半期	33,348	19,917	59.7	1,355.78
(参考)18年6月期	34,121	20,649	59.8	1,389.40

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年6月期第1四半期	2,320	672	2,625	4,300
18年6月期第1四半期	288	134	166	3,281
(参考)18年6月期	2,314	495	2,810	3,913

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末に比べ3億87百万円増加し、43億円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は23億20百万円となりました。これは主に、売上債権の減少23億21百万円と仕入債務の増加9億76百万円による資金増加と、税金等調整前四半期純損失2億28百万円、製品の安定供給を目的としたたな卸資産の増加9億52百万円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は6億72百万円となりました。これは主に、有形無形固定資産の売却による6億52百万円の収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は26億25百万円となりました。これは主に、借入金の返済25億円と、配当金の支払1億13百万円によるものであります。

【参 考】

1. 製品分類別連結売上高 (百万円未満切捨)

品目	平成 19 年 6 月期 第 1 四半期		平成 18 年 6 月期 第 1 四半期	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
増設メモリボード	2,478	19.8	3,408	21.7
ストレージ	3,708	29.7	4,977	31.6
液晶	3,268	26.2	4,133	26.2
周辺機器	2,169	17.3	2,130	13.5
特注製品	277	2.2	434	2.8
その他	598	4.8	665	4.2
合 計	12,500	100.0	15,749	100.0

2. 平成 19 年 6 月期の連結業績予想 (平成 18 年 7 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	34,000	66	105
通期	72,000	630	590

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 40円 16銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当企業グループの売上高及び利益の中間及び通期予想につきましては、来たる第 2 四半期(10 - 12 月)に年末商戦を控え、また新 OS として話題の Windows Vista 発売による需要の拡大を見込まれる等、また当社としても横ワイド型 TV チューナー液晶、ポータブルタイプの DVD 及び HDD 製品等の売上も期待されることから、平成 18 年 8 月 21 日に公表しました業績予想と変更ありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書など

以上

〔添付資料〕

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産				%	
1 現金及び預金	4,300	3,281	1,019	31.1	3,913
2 受取手形及び売掛金	12,337	12,759	422	3.3	14,643
3 たな卸資産	7,383	7,653	269	3.5	6,431
4 その他	2,006	1,617	389	24.1	1,223
流動資産合計	26,028	25,311	716	2.8	26,211
固定資産					
有形固定資産	4,429	5,148	718	14.0	5,087
無形固定資産	538	587	49	8.4	572
投資その他の資産	1,795	2,301	505	22.0	2,250
固定資産合計	6,763	8,036	1,273	15.8	7,910
資産合計	32,791	33,348	556	1.7	34,121
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金	9,359	9,833	473	4.8	8,372
2 短期借入金	500		500		3,000
3 その他	1,756	2,777	1,020	36.7	1,420
流動負債合計	11,616	12,610	994	7.9	12,792
固定負債					
1 退職給付引当金	167	156	10	6.7	152
2 その他	559	458	100	21.9	526
固定負債合計	726	615	111	18.1	679
負債合計	12,343	13,226	883	6.7	13,472
(少数株主持分)					
少数株主持分		204			
(資本の部)					
資本金		3,588			
資本剰余金		4,308			
利益剰余金		12,279			
その他有価証券評価差額金		82			
為替換算調整勘定		49			
自己株式		292			
資本合計		19,917			
負債、少数株主持分及び資本合計		33,348			

科 目	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)				%	
株主資本					
1 資本金	3,588				3,588
2 資本剰余金	4,308				4,308
3 利益剰余金	11,581				12,165
4 自己株式	293				293
株主資本合計	19,184				19,769
評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	65				65
2 繰延ヘッジ損益	966				590
3 為替換算調整勘定	5				14
評価・換算差額等合計	1,026				641
少数株主持分	236				238
純資産合計	20,448				20,649
負債、純資産合計	32,791				34,121

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年6月 期第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年6月 期第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	12,500	15,749	3,249	20.6	70,087
売上原価	11,038	14,511	3,473	23.9	63,197
売上総利益	1,461	1,238	223	18.1	6,889
販売費及び一般管理費	1,773	1,782	8	0.5	7,218
営業損失()	311	543	232		328
営業外収益	118	48	70	143.5	276
営業外費用	115	92	23	25.2	284
経常損失()	307	587	279		336
特別利益	153	1	152	13,296.3	5
特別損失	73	2	71	3,008.6	30
税金等調整前四半期 (当期)純損失()	228	588	360		361
税金費用	204	164	368		166
少数株主利益	4	11	6	58.0	20
四半期(当期)純損失()	437	435	2		549

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年6月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年6月期 第1四半期)	(参考) 平成18年6月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純損失()	228	588	361
減価償却費	118	119	540
売上債権の増減額(増加)	2,321	771	1,094
たな卸資産の増加額	952	139	1,082
仕入債務の増減額(減少)	976	40	1,454
その他	78	173	665
小 計	2,315	28	1,953
法人税等の支払額	7	325	399
その他	11	7	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,320	288	2,314
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形無形固定資産の取得及び売却	652	113	380
投資有価証券の取得による支出	0	50	157
保険契約による支出	0		122
保険契約解約による収入	21		167
その他	1	29	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	672	134	495
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少)	2,500	20	2,979
配当金の支払額	113	145	190
その他	12	0	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,625	166	2,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	20	21
現金及び現金同等物の増減額(減少)	387	609	21
現金及び現金同等物の期首残高	3,913	3,891	3,891
現金及び現金同等物の期末残高	4,300	3,281	3,913